

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	422-1 狂犬病予防事業	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
基本 施策	14 感染症などの流行、拡大を防ぎ、食の安全を確保する	目	01	保健衛生総務費
		細目	239	保健衛生事務経費
		細々目	03	狂犬病予防経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部課	コード 100100 名称 人権生活環境部市民生活課	担当者 氏名	服部 禎亮	連絡先 22 - 9638 (内線) 2515

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市内の犬飼養者及びその付近住民	※対象件数
成果(どうする)	狂犬病の発生拡大の防止	
根拠法令・要綱等	狂犬病予防法	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H22 事業 内容	・三重県獣医師会へ狂犬病予防集合注射を委託し巡回開催を実施 ・獣医師への生涯登録及び狂犬病予防注射済票発行業務の委託 ・広報誌等による生涯登録及び予防注射接種の啓発	
	社会情勢 の変化等	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
集合注射実施箇所数	目標		104	105	105	105
	実績		105	105		
委託獣医師(病院)数	目標		13	13	13	13
	実績		13	13		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
狂犬病予防注射接種率		登録犬数を分母とした接種済み率	%	目標	75	75	75
				実績	70	64	75
				目標			
				実績			

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金	7,754	6,950	6,110	6,438
	県支出金				
	地方債				
	その他	7,754	6,950	6,110	6,438
	一般財源	0	0	0	0
事業投入人件費(B)		0.6人 4,320	0.6人 4,320	0.6人 4,320	0.6人 4,320
フルコスト(A)+(B)		12,074	11,270	10,430	10,758

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
有効性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
達成度	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	○
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	狂犬病の発症につながる。	
効率性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を達成するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を	100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無	無
改進黨	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	
	【状況】	計画のとおり進んでいる

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改進黨	平成22年度から犬の登録管理や狂犬病予防注射を受けさせる義務を飼い主に認識してもらうため、広報紙や行政情報番組などにより啓発を強化する。狂犬病予防注射を受けさせていない飼い主に対して接種を督促し、飼い主の義務について啓発を強化する。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 ペットの飼養に関する啓発にあわせ、生涯登録の呼びかけを行った。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	富岡 通郎
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 犬の登録管理や狂犬病予防注射は法令で定められているため、継続して行っていく必要がある。
現時点における課題、その他	狂犬病予防注射摂取率が100%に至っていない。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	犬の登録管理や狂犬病予防注射を受けさせる義務を飼い主に認識してもらうため、広報紙や行政情報番組などにより啓発を行う。狂犬病予防注射を受けさせない飼い主に対して摂取を督促する。